

第3回定例会
(会期：令和6年8月30日～10月7日)

議決した案件

議案の内訳

10月7日に議決された案件を掲載しています。
8月30日及び9月19日に議決された案件は前号（令和6年11月号）に掲載しています。

●決算案… 3 件 ●議長発議… 1 件

(●賛成多数可決… 4 件)



議案書、提出議案説明書など、本会議資料は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

議案の審査経過
表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名	清新の会						創志会					市民クラブ				未来の風			公明党			創生活会			真政倶楽部	日本共産党					
	議員名	上岡 裕明	大下 博隆	田坂 武文	貞岩 敬	北林 光昭	重森佳代子	乗越 耕司	上田 秀	向井 哲浩	中曽 久勝	岡田 育三	玉川 雅彦	奥谷 求	小池恵美子	落海 直哉	景山 浩	中川 修	石原 賢治	鍋島 勢理	木村 輝江	鈴木 英士	下向智恵子	原田 栄二	坂元百合子	片山 貴志	岩崎 和仁	牧尾 良二	山田 学	宮川 誠子	谷 晴美	
議案第102号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第103号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第104号		×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員派遣		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

※「議」は議長「○」は賛成「×」は反対

【表決が分かれた議案名】

- 議案第102号 令和5年度東広島市歳入歳出決算の認定について
議案第103号 令和5年度東広島市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
議案第104号 令和5年度東広島市造賀財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
議 員 派 遣



〈議案第102号〉

令和5年度決算を認定しました

市の令和5年度決算（一般会計、各特別会計）を認定しました。決算特別委員会における審査を通して、市が令和5年度に実施した事業の課題等を整理し、令和7年度予算に向けた要望事項をとりまとめて市長に提案しました。

○一般会計

歳入 982億4,521万4千円
歳出 961億7,214万円

【主要な施策の成果】(抜粋)

①仕事づくり

●企業誘致・留置と投資促進

- ・企業活動拠点整備への支援
- ・企業立地促進助成（工場等設置助成金・雇用助成金）
- ・産業集積促進助成 など

16億4,166万2千円

②暮らしづくり

●市道、街路、国県道の整備・保全

- ・橋梁等道路施設の長寿命化
- ・都市計画道路の整備促進
- ・道路等の維持修繕の実施 など

42億1,624万7千円

③人づくり

●学校運営の支援と教育内容の充実

- ・ICTの活用による学びの充実
- ・学校支援センターによる支援
- ・小・中学校の施設整備等 など

51億7,466万8千円

④活力づくり

●公共交通ネットワークの強化・充実

- ・東広島市総合交通戦略・東広島市地域公共交通計画の改訂
- ・自動運転・隊列走行[※]BRTの導入検討
- ・JR西高屋駅の結節点機能強化と拠点施設整備 など

12億1,877万2千円

⑤安心づくり

●妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築

- ・妊娠期からの伴走型相談支援
- ・健診事後親子教室の開催
- ・乳幼児等医療費の支給対象の拡大 など

14億1,356万5千円

●保育環境の充実

- ・職務奨励費及び保育士定着応援給付金の支給
- ・私立保育所等の施設整備
- ・放課後児童クラブの充実 など

13億9,396万4千円

決算特別委員会からの要望事項(抜粋)

○各町単位で税収と公共投資のバランスについて調査し、地域内経済の循環に資する検証を行うこと。

○[※]Town&Gownの一層の取組により、社会課題の解決、地域と大学の連携、職員の人材育成などを強化すること。

○20万都市を見据え、医師をはじめとした[※]エッセンシャルワーカーの確保及び救急医療体制の整備に努め、本市の属する二次保健医療圏における保健医療の充実を図ること。

○子どもを中心に据えた保育環境及び教育環境の充実を図るために、保育現場や学校現場の状況を把握し、保育士、教育補助員及び学校教育支援員等の人材確保に努めること。

○住民自治協議会の取組が活発化し、及び魅力あるまちづくりのための住民主体の活動が促進されるよう、地域づくり推進交付金における事業の項目について、見直しを含め検討すること。

○農業の担い手確保に引き続き努めるとともに、農業者のニーズに合った農業支援施策を展開すること。

○入札時期の部局間調整や[※]債務負担行為の活用等、工事発注のあり方を見直し、年間を通じた工事量の平準化を図ることにより、多くの市内業者の受注につなげるとともに、各種事業を着実に実施し、早期に事業効果を発揮できるよう努めること。

※BRT Bus Rapid Transit（バス高速輸送システム）の略。バス専用レーンやバス優先信号などを組み合わせて、これまで以上に早く、時間どおりに目的地へ到着できるバスシステム。鉄道と路線バスの中間に位置する輸送モード。

Town&Gown 欧米の大学立地都市を参考に、タウン（街）とガウン（学生や教授たち）とが一体となったまちづくりを目指すため、大学と東広島市が連携を図りながら、持続可能で魅力的なまちづくりを進める取組み。

エッセンシャルワーカー 公共交通、物流、医療・介護など、人々が生活するうえで欠かせない仕事をする人たちのこと。

page.05 債務負担行為 数年度にわたる建設工事、土地の購入等翌年度以降の経費支出や、債務保証又は損失補償のように債務不履行等の一定の事実が発生したときの支出を予定するなどの、将来の財政支出を約束する行為。

決算特別委員会での主な意見

総務分科会関係分

● 職員の災害に対する危機管理意識が低い。全庁的に意識の向上を図る必要がある。

● DXが進むように組織・業務の在り方を見直し、職員が市民と向き合う時間を作る必要がある。

文教厚生分科会関係分

● 介護人材における外国人確保支援事業について、制度設計時に対象者への意向調査がなされていないように感じたため、丁寧な制度設計をしていく必要がある。

市民経済分科会関係分

● 地域づくり推進交付金の事業項目について、まちづくりを後押しできる形で見直しを検討することが望ましいと考える。

● 予算は組んだものの実績がゼロであった補助メニューについて、どれだけ対象者に周知されているのが課題である。

建設分科会関係分

● 技術職の職員の確保・育成に積極的に取り組んでいただくよう、分科会としても事業系の部局に対して働きかける必要がある。

● 処理場や汚水管渠の整備に当たっては、民間の新たな投資や開発の妨げとならないよう、先を見越して取り組む必要がある。

● 空き家対策について、NPO法人等の民間組織、地域の方との連携は不可欠になるので、関係者との協働を強くして取り組んでいただきたい。

監査委員からの主な審査意見

各財政指標の数値はおおむね一定の水準を維持しているものの、経常収支比率をはじめとして指標の多くが悪化の傾向にある。人件費・扶助費等の経常的経費は今後とも増加が見込まれ、本市を取り巻く財政状況は厳しさを増していることが予想されるが、こうした状況においても、都市の基盤形成・維持につながる公共施設やインフラ整備は行っていく必要がある。

る。職員一人一人が、こうした現状を認識し、強いコスト意識を持つて事業の効果や必要性を精査するとともに、時代の変化により生じる様々な市民ニーズを的確に把握し、優先順位等を見極めながら、限られた財源の適切な活用に努めていただきたい。

本会議での討論

反対

スマートインターチェンジなどの大型事業よりも、命と暮らしを最優先する政治をしていただきたい。賃金アップ、所得補償、価格保証の向上に寄与する事業に転換すべきと考え、反対する。

賛成

令和5年度の予算は、市民生活や地域経済活動への支援に向けた取組みが行われ、多くの成果が出始めたものと感じられる。今後も適正で持続可能な行財政運営に期待し、賛成する。



〈議案第104号〉
令和5年度東広島市
造賀財産区特別会計
歳入歳出決算を認定
しました

東広島市造賀財産区が令和6年3月31日をもって廃止されたことに伴い、市において決算を行いました。歳入総額688万3000円、歳出総額322万2000円、差引額366万1000円となっております。その余剰金は、市に譲渡されています。

本会議での討論

反対

当該財産区が整備した公園で利用料を徴収していたにもかかわらず、収支に計上されていない。歳入歳出が適法適切に行われたか、提出された書類では判断できないので、反対する。

賛成

監査委員が調べられ、そして執行部も調査され、その上で審査意見書にある内容にとどめられたということは、不正はないということを判断されたものだ、これを信頼して、不正はなかったと思い、賛成する。